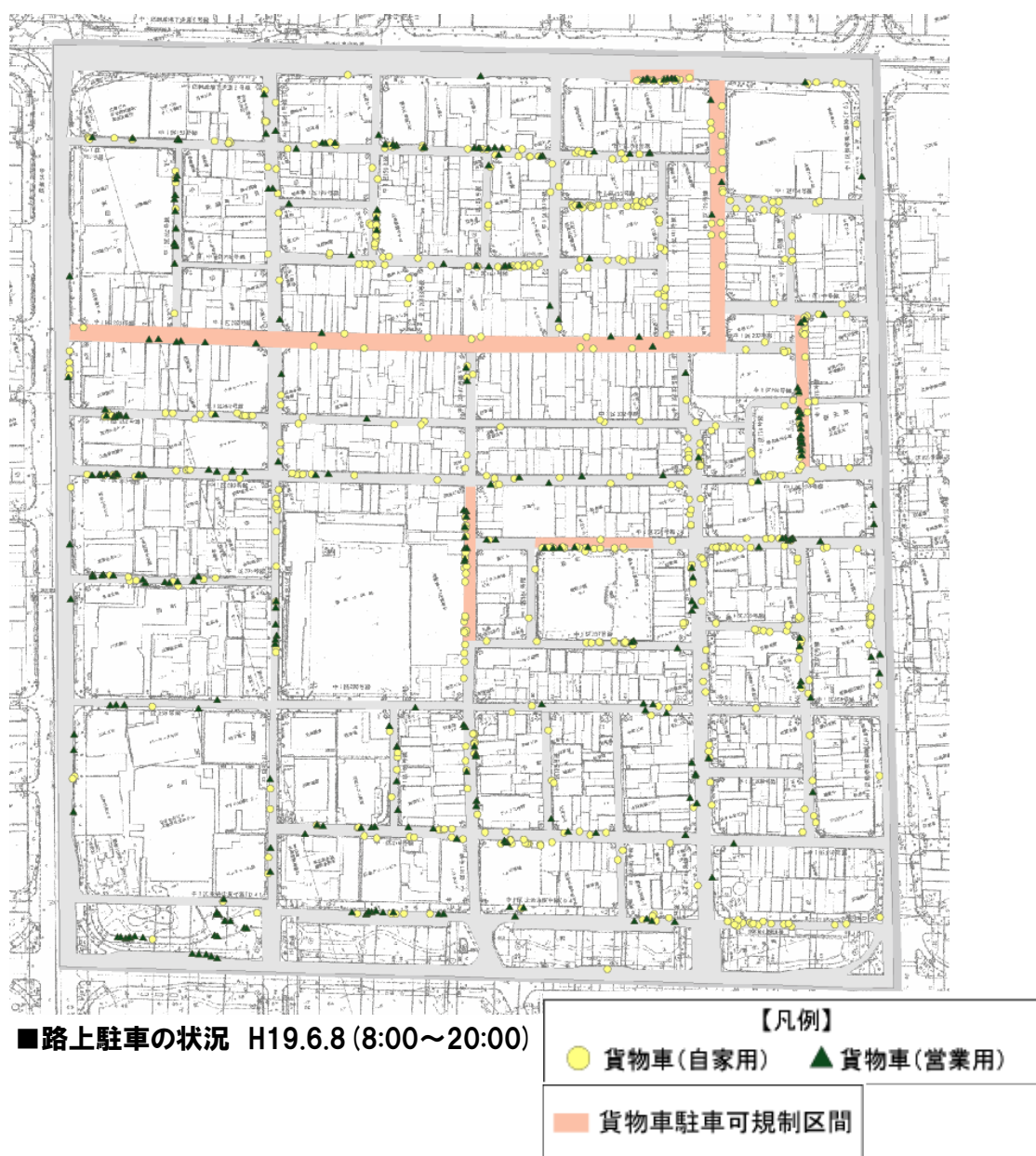


広島市中心部「まちなか」における環境にやさしい物流に向けた取組について

1 広島市中心部の現状と課題

(1) 現状と課題

広島市中心部は、中国・四国地方最大の商業地であり、多くの商業・業務機能が集積している。しかし、メインの通りを一步入ると、歩道がなく幅員の狭い道路なども多く、また敷地内に荷さばきスペースのない小規模な店舗が多いことから、貨物車による荷さばきのための路上駐車が日常的に行われているため、来街者（歩行者）の安全性や回遊性に支障を来している。

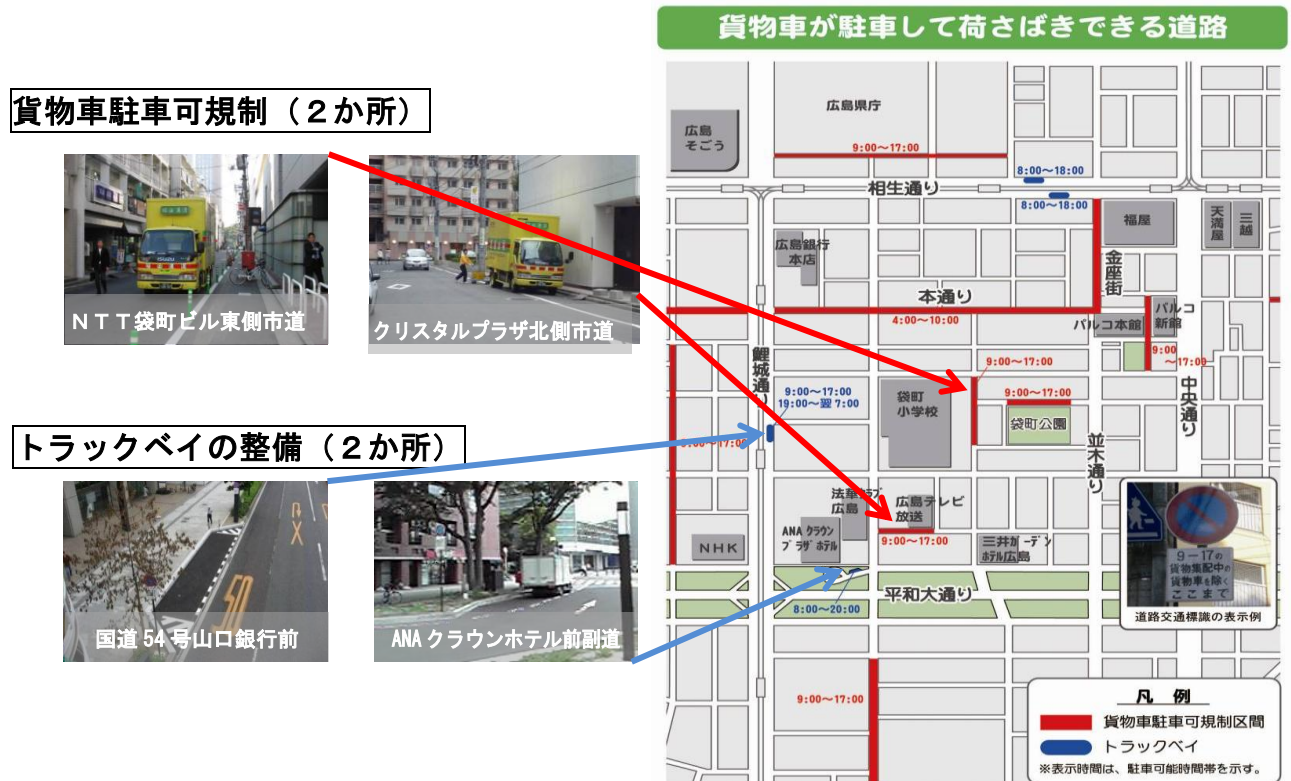


(出典：平成19年度ひろしま物流まちづくり調査 報告書より)

2 これまでの取組

(1) 「ひろしま物流まちづくり調査委員会（※1）」の取組【平成18年度～平成20年度】

貨物車駐車可規制の導入とトラックベいの整備を行う等、貨物車の路上駐車問題に対して最も即効性がある荷さばきスペースを新たに確保した。



(※1) ひろしま物流まちづくり調査委員会（平成18年設立）

主な構成メンバー：学識経験者、経済産業省、国土交通省、広島県、広島市、

広島商工会議所、運送業界、広島市中央部商店街振興組合連合会

事務局：(社) 広島県トラック協会

(2) 「広島市都心交通対策実行委員会（※2）」の取組【平成20年度～】

物流の効率化による貨物車の流入量自体の削減が見込まれる「共同集配」については、荷主の主体性や行政のバックアップが不可欠であることから、当委員会に場を移して検討を行った。さらに、より具体的な検討を行うための下部組織としてプロジェクトチームを立ち上げ、平成21年度の社会実験に向けた調整・準備を行った。

(※2) 広島市都心交通対策実行委員会（平成8年設立）

主な構成メンバー：広島市中央部商店街振興組合連合会、広島商工会議所、
(社) 広島県トラック協会、国土交通省、広島市

事務局：広島市（道路交通局）

3 平成21年度 共同集配社会実験の概要

(1) 実施主体

広島市都心交通対策実行委員会、広島市中央部商店街振興組合連合会

(2) 実施期間

平成21年10月1日（木）から平成21年11月30日（月）までの2か月間

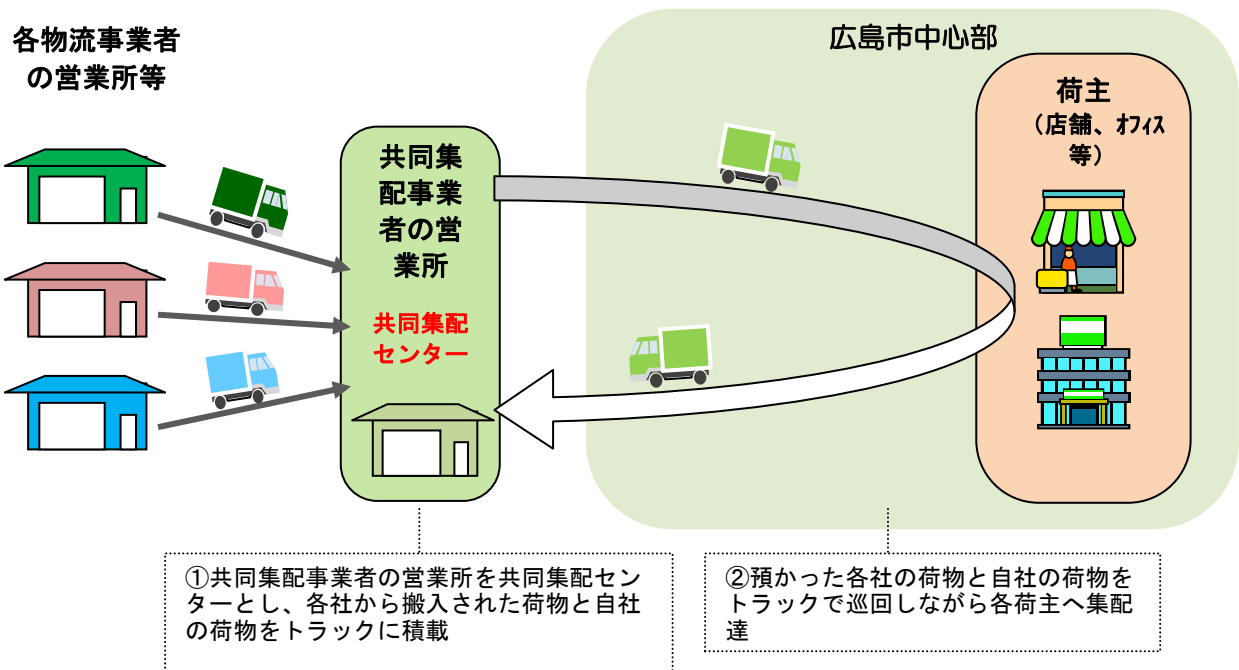
(3) 参加事業者

9社（共同集配事業者である福山通運(株)を含む）

(4) 対象エリア・対象貨物

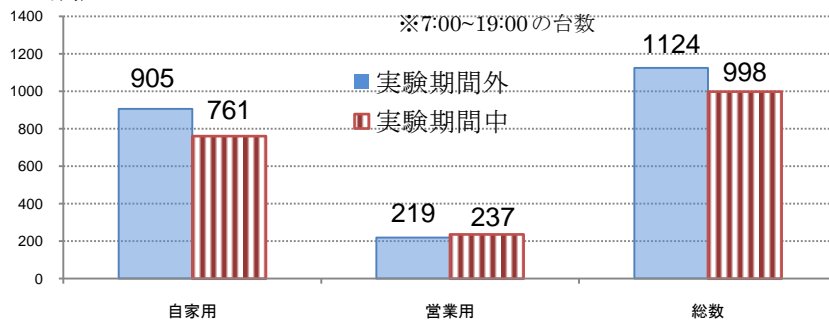
広島市中央部商店街振興組合連合会の商店街の加盟店舗に集配される一般商業貨物

(5) 実施方法



(6) 路上駐車台数の変化

実験期間中と実験期間外の路上駐車台数（貨物車）の変化
（台/12時間）



注：営業用貨物車は、社会実験参加を要請した事業者のトラック台数

4 平成22年度 まちなかe c oカーゴステーション社会実験の概要

(1) 実施主体

広島市都心交通対策実行委員会、広島市中央部商店街振興組合連合会

(2) 実施期間

平成22年12月1日（水）から平成23年3月31日（木）までの4か月間

(3) 参加事業者

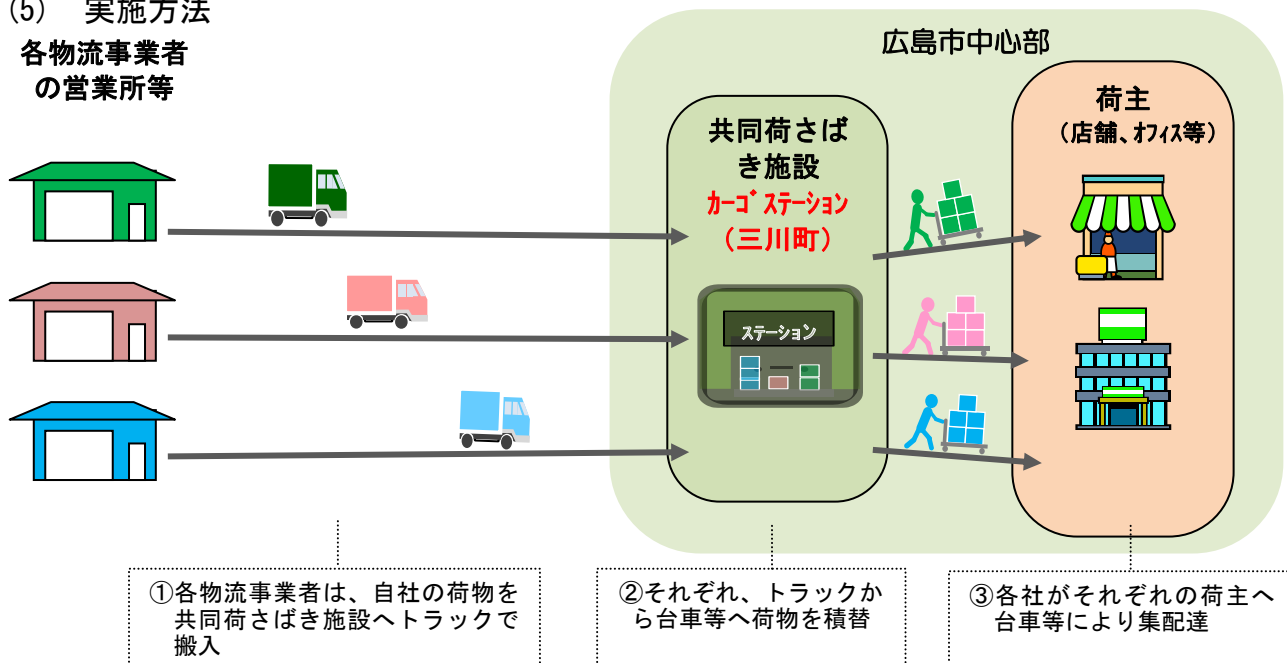
佐川急便(株)、福山通運(株)、ヤマト運輸(株)（五十音順）

(4) 対象エリア・対象貨物

袋町、三川町などの商業施設が集積している都心のエリアに集配される一般商業貨物

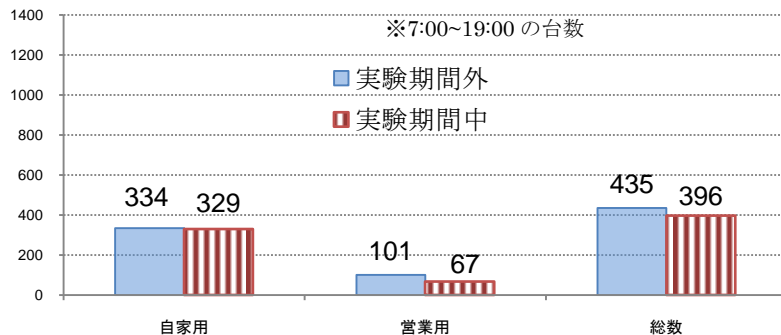
(5) 実施方法

各物流事業者
の営業所等



(6) 路上駐車台数の変化

実験期間中と実験期間外の路上駐車台数(貨物車)の変化
(台/12時間)



注：・調査対象エリアは平成21年度調査時の約1/2
・営業用貨物車は、社会実験参加を要請した事業者のトラック台数